



[＜目次＞](#) [特別総会報告](#) / [公式 SNS「卒業生特集」](#) / [「カレッジアドミッション」告知](#) / [総会での質問](#) / [アンケート募集](#)
[校長先生インタビュー](#) / [2025 年度前期管理運営委員紹介](#) / [新管理運営委員紹介](#) / [委員長からの報告](#)

[illegible]

さらに、第二弾も近日公開予定です。この機会にぜひ公式アカウントをフォローください。続報をお楽しみに！

【告知】「カレッジアドミッション」イベントのご案内（教育人事部）

教育人事部では、全校アンケートでも関心の高かった「カレッジアドミッション」をトピックに、以下の二つのイベントを企画しました。皆様のご参加をお待ちしています。

【保護者向け交流会】 「カレッジアドミッションについて経験者から学ぼう」	SR校4階図書館	5月31日(土) 9時30分～11時30分
【保護者・生徒向けセミナー】 「短期留学だけじゃない！ 英語で学位取得も可能：多様化する日本の大学進学法」	SR校演芸場	6月14日(土) 16時～17時

【保護者向け交流会】

「カレッジアドミッションについて経験者から学ぼう」：カレッジアドミッションって、実際どうなの？

お子様の進路のこと、考えるほどに不安になりますよね。

「大学進学って、そもそも、いつから準備をすればいいのかわからない」

「課外活動が必要って聞くけど、どんなことをすれば良いの？」

「日本の大学とどっちが良い？日本の大学を帰国子女として受けることってできるの？」



そんなお悩みをお持ちの保護者の皆様に、お子様をカレッジに送り出した経験をお持ちの保護者（または卒業生の保護者）をパネルとして呼び出して経験談を語っていただく交流会を開催いたします。リアルな声を聞くことで、進路選択のヒントがきっと見つかります。ぜひご参加ください！

※パネリストの経験談はあくまで個人的な経験・見解です。取り入れるかどうかは個人の判断をお願いします。

※パネリスト以外でも会場で経験や知識をシェアしていただける方のご参加も歓迎です。

【保護者・生徒向けセミナー】

「短期留学だけじゃない！英語で学位取得も可能：多様化する日本の大学進学法」

「せっかく日本語と英語を習得したのだから、大学進学後も維持していきたい」

「日本の大学で学んでみたい」

「学費も安いし、日本の大学は魅力的。でも日本語で大学レベルの授業について行けるか、不安」



そんなお悩みに応えるべく、日本大使館から講師をお招きして、日本の大学への留学、進学の方法を学べるセミナーを開催します。ふるってご参加ください。

※図書室備え付けの椅子には数に限りがございます。参加者多数の場合は立ち見になる可能性があることをご了承ください。

※交流会・セミナー終了後、図書室をもとの状態に戻すためのお手伝いが必要です。参加される方はご協力をお願いいたします。

※両イベントとも、録音および録画は行いませんので、あらかじめご了承ください。

※パネリスト、講師への事前のご質問や、本イベントに関するお問い合わせがございましたら、[教育人事部](#)まで、メールでご連絡ください。

特別総会こぼれ話：保護者の質疑応答より

特別総会の質疑応答の時間には、保護者の方からの多様な質問が寄せられました。今回はその中から、特に多くの方にとって参考になりそうなご意見について、ご紹介します。



小3保護者の方から「4月になって3年生では国語辞典が必要であることを初めて知った。アメリカで入手困難なものであるため、準備に苦労した。次年度の持ち物一覧が事前に共有されていたら、余裕を持って用意できるのだが…」とのご意見をいただきました。新学期、同じように準備に苦労されたご家庭もあったのではないのでしょうか。

実は、本校ウェブサイトで閲覧できる『[学校のしおり](#)（外部用）』（P10～P12）に、学年ごとの持ち物一覧が掲載されています。でも、そのことをご存知ない方や、年度途中で次年度の持ち物まで思いが至らない方も多いかもしれません。持ち物の中には、アメリカで入手困難なものも含まれます。一例をご紹介しますと…



小1	折り紙、学習ノート（しおり参照）、赤鉛筆
小2	学習ノート（しおり参照）、三角定規セット、30センチものさし、なわとび
小3	小学国語辞典、コンパス、三角定規セット
小4	小学国語辞典、小学漢和辞典、コンパス、分度器、三角定規セット ノート（5ミリ方眼 or マス目）、15～20センチの定規
小6	小学国語辞典、小学漢和辞典、コンパス、分度器、ノート（5ミリ方眼 or マス目）
中1	辞書（電子辞書可）

特に小学生は学年ごとに新しく必要になる学用品が多いようです。余裕をもって次年度の準備を進められるように、夏・冬休みの一時帰国前や、折を見て、『[学校のしおり](#)（外部用）』（P10～P12）の持ち物一覧をぜひご確認ください。

「ここが落ち着く」近隣のおすすめ場所、ぜひ教えてください（広報部）

こちら先日の特別総会時に、幼稚部・年長組の保護者の方から、「遠方から通っている人がたくさんいるが、保護者がゆっくりできる場所がない。交渉してジムやカフェテリアなど使用できる予定はないか？」というご意見をいただきました。以前は授業などで使用しない場合は、1階の小ホールを保護者の待機場所として使用していただくことが可能でしたが、現在はSR校の改装などもあり、待機場所を提供するのが難しい状況となっています。なお、構内のピクニックテーブルなどは自由にご使用いただけます。今後も待機場所の確保についての検討は続けてまいりますので、引き続きご理解、ご協力いただけますようよろしくお願いします。ご不明な点は、お気軽に担任や事務局におたずねください。

そこで、保護者の皆様にお伺いします。遠方の方も近隣の方もお子様の送迎の後、普段どこで過ごされていますか？おすすめの過ごし方や、ちょっとひと息つける場所。美味しいランチ・カフェなどの情報がございましたら、ぜひお寄せいただけますと幸いです。ぜひこの機会にお気に入り情報をお聞かせください。

アンケートは[こちら](#)です。皆様からいただいた情報は、今後、まとめてみらい通信で紹介していきたいと考えています。お問い合わせは、広報・PS部(koho@wjls.org)まで。



【特集】「教えて校長先生」スペシャルインタビュー

4月に着任されて以来、いつも校内で私たちが温かく見守ってくださっている校長先生。笑顔と大きな声が印象的ですが、その“素顔”についてはまだ知らない方も多いのではないのでしょうか。先生のお言葉やお人柄に触れることで、ご家庭でのお子さんとの会話のきっかけになり、先生をより身近に感じていただける機会となれば嬉しく思います。またお忙しい中にもかかわらず、快くインタビューにご協力くださった校長先生に、心より感謝申し上げます。



東間 義孝先生

学生時代どんなタイプの生徒でしたか？

子供の頃からスポーツと遊びが大好きで、勉強は少し苦手なタイプでした。今でも変わらないかも！

大事にしている「言葉」や「モットー」があれば教えてください。

諸先輩から学んだり贈っていただいたりした言葉を今でも大切にしています。教職経験が浅い頃に教えていただき、今でも自分の教育観の軸としている「子供には温かく、授業に向かう姿勢は厳しく、使う教室は美しく」という言葉。

研究主任をしていた頃に出会った「授業が変われば（授業を磨けば）、子供が変わり、学校が変わる」という言葉も大切にしています。そして今は、「笑福来門」と書いていただいた色紙を校長室に置いています。

もし他の仕事をしていたとしたら、何をしていたと思いますか？

金庫にたくさんお金があるからという単純な理由で、小学生の頃は銀行員になりたいと思っていました（笑）亡き父が土木建築関係の会社を営んでいましたので、後継者になっていたかもしれません。



始業式にて

教員になろうと思ったきっかけは？

高校時代、成績が悪く学ぶ意欲も落ち、グレかかった私を見捨てず、いつも気にかけて叱咤激励してくださった先生に救われ、「こういう先生になりたい」という憧れを抱きました。また、その思いを確かにしたのは、実際に子供たちに関わり触れ合った教育実習でした。子供の笑顔や成長を感じることが大好きなのは、今でも変わりません。

おすすめの本を教えてください。

2019年に若くしてお亡くなりになった瀧本哲史さんの『ミライの授業』です。「未来は、やって来るのではなく、つくるものだ」という考えを、たくさんの先人を例に挙げ熱く伝えてくれます。



今、はまってる事がありますか？

赴任して間もない私と妻を、周りの方々が受け入れ、親身に支えてくださっています。本当に感謝しています。ワシントンをもっと知り、大好きになるために、休日には安全なエリアを選んで街歩きをしています。また、時差はありますが、LINEで孫の成長を感じることも元気の源です。



北海道ご出身とのことですが、北海道でおすすめの場所や食べ物などを教えてください。

生まれも育ちも北海道札幌市です。北海道は自然豊かで、海や山、畑でとれるものが新鮮です。街には、リーズナブルで美味しい回転寿司のお店が多く、「なごやか亭」がお気に入りです。他にも「トリトン」や「根室花まる」も人気です。また定番の札幌ラーメンやジンギスカンはもちろんのこと、スープカレーやメパフェもトレンドです。その他、「はちきょう」のつつこめしは観光客に大人気で全く予約が取れません（泣）。



アメリカ・ワシントン DC の印象は？



さすが米国の首都！緑が多く、街がとてもきれいです。また、スミソニアンを含めた文化施設が充実しており、落ち着いた雰囲気大好きです。メトロが市内の主要なところに張り巡らされており、便利だなと思いますが、やはり車社会ですね。車の多さとスピードに驚いています。

実は、2000 年にフルブライト基金が実施した教員用特別プログラム（MTP）に参加し、たった一日ですがワシントンを訪れ、教育省で講義を受けました。当時のワシントン日本語学校の校長先生が、札幌で大変お世話になっていた校長先生でした。ワシントン DC には、ご縁を感じています。

ベルギー・ブラッセル補習授業校での思い出を教えてください。

EU 本部があるブリュッセル。有名なチョコやビール・ワッフルが、お土産というより人々の日常生活の一部になっているように感じました。しかし、私が赴任した 2017 年頃は、テロの横行や英国が EU から離脱するといういわゆるブレグジット（Brexit）で社会が混乱していました。

そうした中でも、子供たちや保護者はその地で日々生活し、さらに現地校（またはインター校）と補習校の両方で必死に学んでいました。その姿は、ワシントン日本語学校の皆さんと同じでした。



これまで教鞭をとられた 3 か国それぞれの教育現場に、違いを感じることはありましたか？

担任として直接授業をしていたのは日本だけです（校長としては日本・ベルギー・米国）、また比較教育学が専門ではありませんので確かなことは申し述べられませんが、肌感覚として、国（あるいは州や自治体）等によって、教育のあり方や内容が日本と異なることを実感しました。また、欧米では宗教的背景もあることがわかりました。

しかし、改めて日本は「学習指導要領」を核として、全国で基礎学力の定着や思考力・創造性を育てていることが、全体的な均一性や底上げになっていると思います。また、日本では「心の教育」としての道徳教育が行われ、人格形成を学校教育として重視していることもグローバル社会において大きなアドバンテージとなると思います。



本校でこれからやっていきたい事、意気込みなどお聞かせください。

私は皆さんと同じように、子供たちの笑顔が大好きです。未来からの留学生であるお子さんは、一人一人成長の歩みや速さは異なります。子供を真ん中にして、じっくり『共育』で一緒に育んでいきたいと思いますか。

2025 年度前期管理運営委員会のメンバー紹介



左:青柳（総務）

右:渡部（広報・PS 部）

（特別委員）河野/竹村



4 列目：黒木/羽田(教育人事),シーブルック/ジョーンズ(学年代表),横山/竹内(広報・PS 部)

3 列目：生島(財務),ジャコブソン/魚澤/大光/カリクレッテ(総務)

2 列目：中村/寺部(教育人事)

最前列：向山(教育人事),樋川事務局長,東間校長,栗原(委員長),大久保(副委員長),安東(財務)

新管理運営委員のご紹介



黒木 友里

このたび、教育人事部に入りました黒木と申します。小2と年長の息子2人と、来年の年中入園を楽しみにしている三男、5月下旬には四男が産まれる予定です。昨年度は、まだ小1の長男と宿題をする際にけんかになることも多々ありましたが・・・先生方やお友達のおかげで、息子は笑顔で通い続けてくれました。次男も年中一期生として、明るく楽しいクラスづくりをくださった先生方のおかげで、毎週わくわくしながら通っていました。今後、私自身も日本語学校をより深く知り、本校の子供たちと共に頑張り、みんなが毎週土曜日を笑顔で過ごせるように、運営のお手伝いをしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



横山 優子

このたび、広報・パートナーシップ部に加わることになりました横山と申します。小学校2年生の娘と、プリスクールに通う2歳の息子がいます。2013年に渡米し、アレキサンドリアに住んでおりましたが、娘の小学校入学を機にマクリーンへ引っ越してまいりました。娘は現地校でも日本人のお友達がいますが、毎週土曜日に日本語学校でより多くのお友達と遊んだり、共に学んだりできることをとても楽しんでます。このワシントン日本語学校が、今後もこの地で日本語教育を末永く続けていけるよう、広報・パートナーシップ部の一員として微力ながら貢献してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>



委員長からの報告



皆様、あつと言う間に5月です。4月の特別総会にお越しくださった方、そして委任状をご提出くださった方、ありがとうございました。本校は「保護者立」学校として、保護者の皆様のご意見を頂戴できる場を大切にしています。日本から校長先生教頭先生をお迎えし、教育面を引っ張っていただいておりますが、学校の運営においては保護者の皆様のご協力が欠かせません。どうぞよろしくお願いいたします。

少し話が戻りますが、入学式には大使館、ワシントンおよびメリーランドの商工会、近隣研究機関を代表する大勢の皆様のご臨席を賜りました。これだけ多くの方々・団体が日本語学校を支えてくださっていることには、感謝の気持ちでいっぱいです。また、来賓控室では当校顧問弁護士の伊藤先生が、「日本語学校は教育機関として日本コミュニティを支えているが、こうやって日本コミュニティのために各分野で尽力する団体をつなげる場でもある」とお話しされており、日本語学校が果たす役割を再認識させられました。

5月の管理運営委員会では、現状に沿ったより効率的な運用を目指し、様々な細則についての審議が行われました。また、総会でもお話しした、事務局の業務フローの点検と見直しを行う小委員会の設立が承認されましたので、これから実際の作業に取り組んでいくことになります。

引き続き、保護者の皆様には、ワシントン日本語学校ならびに管理運営委員会へのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



委員長： 栗原美恵
副委員長： 大久保智夫
総務部： 青柳陽介（部長）・魚澤智子・大光麻紀子・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子
財務部： 安東宇（部長）・生島奈美
教育人事部： 向山こずえ（部長）・黒木友里・寺部正記・中村公紀・羽田真実子
広報・PS部*： 竹内由美（部長）・横山優子・渡部智彦
学年代表： ジョーンズ紀子（低・中学年代表）・シーブルック留実（高学年代表）

* 広報・パートナーシップ部の略